



P 10 P R O F I L E

取扱説明書

Version 1.05

Software >= 1.0.0

JP230713

Content	
1. Introduction.....	05
1.1 P10 Profile models.....	05
1.2 モデルHP/HC/WWの重要な違い.....	05
2. Dimensions.....	06
3. Product overview.....	07
4. 安全に関する注意事項.....	08
5. 設置方法.....	10
5.1 装置の開梱.....	10
5.2 接続ケーブルにプラグを取り付ける.....	10
5.3 主電源接続.....	11
5.4 電源フィードスルーの配線.....	11
5.5 信号の接続.....	12
5.5.1 DMXケーブル配線.....	12
5.5.2 イーサネットケーブルの配線.....	12
5.5.3 ワイヤレス受信.....	12
5.6 デバイスの取り付け.....	13
6. 操作パネル.....	14
6.1 Menu overview P10 Profile.....	15
6.2 FACTORY DEFAULTS -工場出荷時設定.....	18
6.3 USER DEFAULTS -ユーザーによる設定.....	18
6.4 DMX / NET ADDRESS - DMXアドレス/Artnetアドレス/sACNアドレス.....	18
6.5 PERSONALITY -個人設定.....	18
6.6 STANDALONE動作.....	21
6.7 INFO-menu.....	22
6.8 Shortcuts - quick access.....	22
7. Control options.....	23
7.1 DMX.....	23
7.1.1 Operating modes P10 Profile.....	23
7.1.2 DMX channel functions P10 Profile.....	25
7.1.3 Control channel.....	32
7.1.4 Sparkle effect, sparkle speed.....	32
7.1.5 Auto focus.....	32
7.2 Artnet.....	32
7.3 Streaming ACN.....	32
7.4 Wireless-DMX.....	33
7.5 RDM.....	33
7.5.1 RDM-UID.....	33
7.5.2 RDM-PIDs.....	33
7.5.3 Standard RDM parameter IDs.....	34
7.5.4 Manufacturer specific RDM parameter IDs.....	34
7.5.5 RDM sensor IDs.....	35
8. Service.....	35
8.1 Service menu.....	35
8.2 Changing gobos.....	36
8.3 ゴボサイズ.....	37
8.5 ソフトウェアアップデート.....	37
8.6 電気機器のテスト.....	37
8.7 デバイスのクリーニング.....	38
8.8 サービスとメンテナンス.....	38
9. Overview of error codes for all fixtures.....	39
10. 仕様書.....	41
11. 適合宣言書.....	42

1. Introduction

1.1 P10 Profile models

P10 Profileは、3つのモデルで構成されています。各モデルは、ライトモジュール、カラーフィルター、CTCフィルターに違いがあります。また、DMXチャンネルにも違いがあります。

- P10 Profile HP (High Power)
- P10 Profile HC (High CRI)
- P10 Profile WW (Warm white)



Specification	HP - High Power	HC - High CRI	WW - Warm White
Color temperature	6800 K	5800 K	3200 K
Luminosity	25.000 lm (15.000 lm Output)	16.000 lm (10.000 lm Output)	12.000 lm (8.000 lm Output)
CRI	>= 70 (with CRI filter >= 90)	>= 90	>= 92
Correction filter	linear CTO 6800 K to 3200 K	linear CTO 5800 K to 2700 K	linear CTB 3200 K to 5000 K

1.2 モデルHP/HC/WWの重要な違い

High Power / High CRI / Warm Whiteの各モデルの違いは以下のとおりです：

P10 Profile

Channel 30 (48/49)

色温度補正：

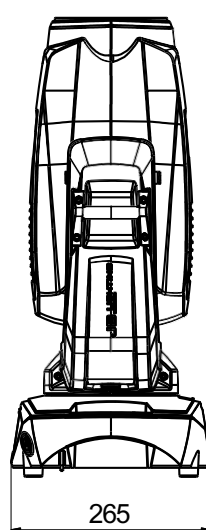
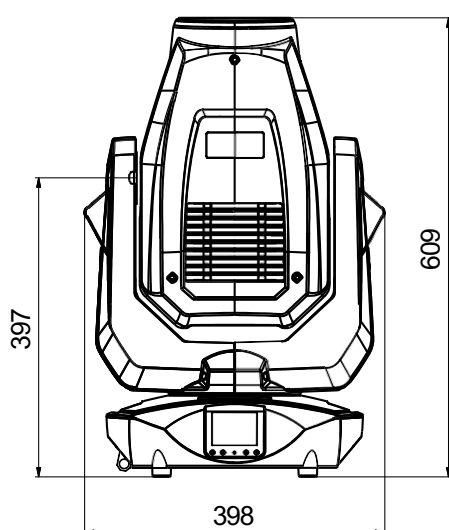
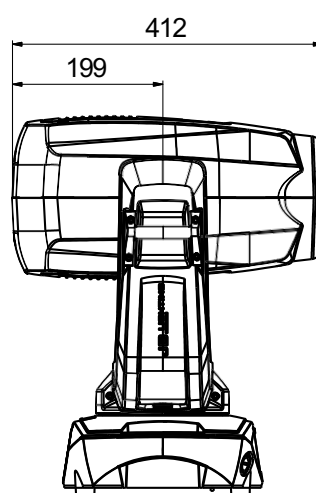
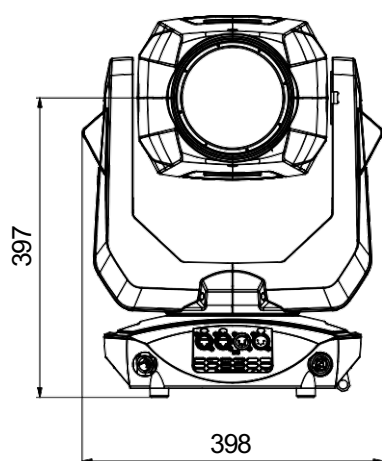
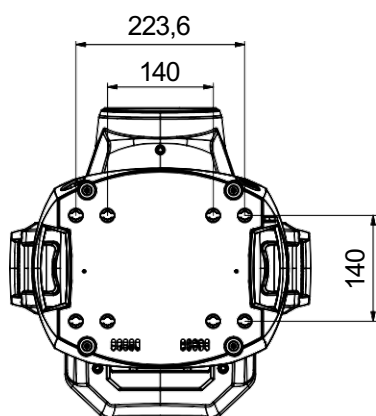
HP、HCモデル：CTOフィルター

WW型はCTBフィルター

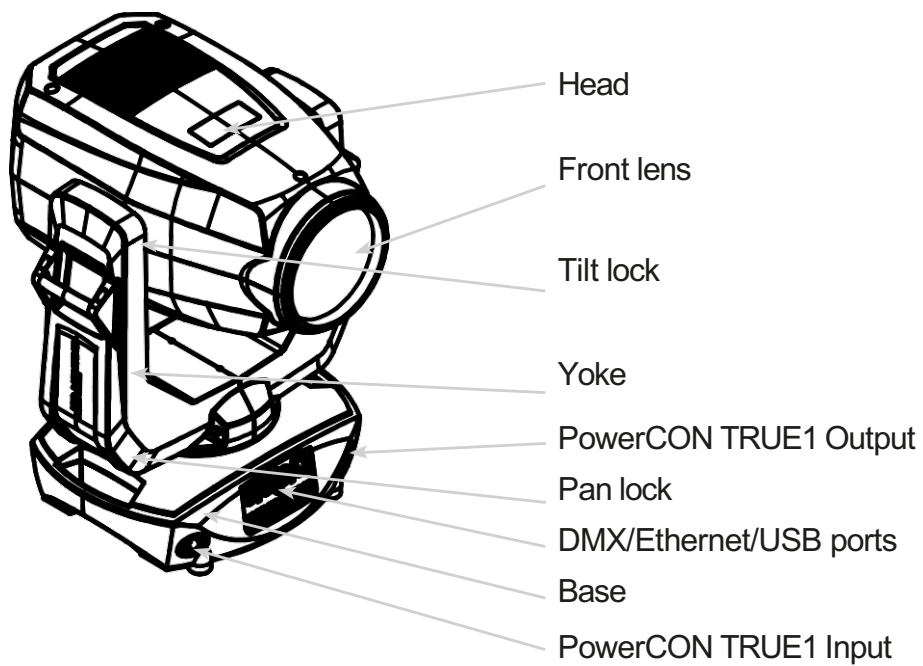
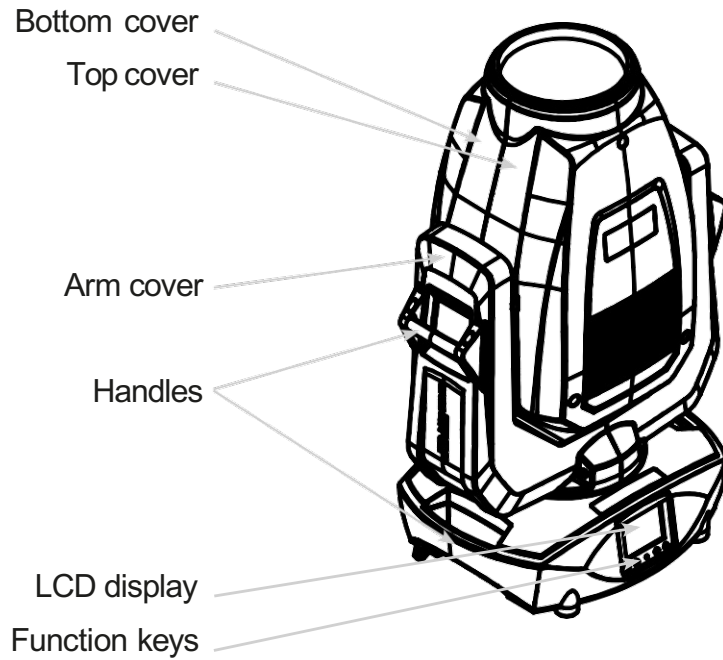
詳細については、25ページのP10 ProfileのDMXチャンネル割り当てを参照してください。

P10

2. Dimensions



3. Product overview



4.安全に関する注意事項



注意：安全のために、最初に使用する前にこの取扱説明書をよくお読みください。

このスポットライトは、良好な状態で弊社より出荷されています。この状態を維持し、安全にお使いいただくために、この取扱説明書に記載されている以下の安全に関する指示と警告を守ることが非常に重要です。

この取扱説明書の指示に従わない場合、または許可なく改造した場合に発生した機器の損傷については、製造者は責任を負いかねます。

また、所有者による本機の改造は、保証の対象外となりますのでご注意ください。



注意：この装置は業務用としてのみ使用可能です。防水防塵保護等級IP 20
- 乾燥した環境（屋内）のみで使用可能です。

注意：JB-Lighting Lichtenlagentechnik GmbH は、生命維持装置への使用を許可していません。生命維持装置とは、生命の維持や安定を目的とした装置で、その欠陥や誤動作が人の死や傷害につながる可能性があるものを指します。

本書の製品は、以下の EU 指令に適合しています。

- Low Voltage Directive 2014/35/EU
- EMC Directive 2014/30/EU



注意：デバイスを開ける前に、電源からデバイスを切り離すこと。
活線部品（高電圧）に触れて感電する恐れがあります。

接続する主電源が、タイププレートに記載されている電圧より高くないことを確認してください。この装置は、タイププレートに記載されている電源でのみ使用できます。電源の種類が不明な場合は、販売店または電力会社にお問い合わせください。

クリーニング作業を行う前、ヒューズや部品を交換する前には、必ず本装置を電源から外してください。

スポットライトを設置した後は、必ず電源プラグにアクセスできるようにしてください。ソケットや延長ケーブルに過負荷をかけないでください。火災や感電の原因となります。電源ケーブルの上に物を置かないでください。電源ケーブルに人がつまずいたり、踏んだりするような場所にスポットライトを設置しないでください。電源ケーブルは、鋭利な刃物で押しつぶされたり、損傷したりしないように注意してください。時々、本体と電源ケーブルを点検してください。

メンテナンス作業は、資格を持った技術者に任せてください。



注意：この器具は感電保護クラスIに対応しています。このため、このスポットライトはアース接点のあるコンセントに接続する必要があります。

本機をディマーパックに接続することは絶対に避けてください。
初回使用時に、煙や臭いが発生することがあります。これは正常な現象であり、必ずしもデバイスの不良を意味するものではありません。
デバイスは動作中に熱くなります。動作中は絶対に素手でデバイスに触れないようにしてください。
ヒューズを交換するときは、同じ種類で同じ値のものだけを使用してください。ヒューズの交換は、必ず認定技術者が行ってください。



注意：目を傷める為動作中は、光源を長時間のぞき込まないでください。目に有害な影響を与える可能性があります。注意：潜在的に危険な光量 - DIN EN 62471に基づくリスクグループ2

デバイスが強い温度変動にさらされた場合（例：輸送後）、デバイスの電源をすぐに入れることはできません。結露が発生し、デバイスに損傷を与える可能性があります。デバイスの電源は、室温になるまで切っておいてください。

P10Profileを0°以下で動作させると、ゴボ/プリズムのスイッチングとゴボ/プリズムの回転の速度が低下します。これは、P10プロフィールの保護メカニズムです。低温では、回転機構において潤滑油が比較的粘性を持つため、効果が鈍くなることがあります。室内温度1°以上から、スポットライトは正常に作動します！この温度は、通常の操作（LEDエンジン点灯）ですぐに到達します。

デバイスを振ったり、叩いたりしないでください。設置や操作の際に力任せにしないようにしてください。

このライトは屋内使用専用設計されています。このデバイスを雨や湿気にさらさないでください。

取り付け場所を選ぶ際には、デバイスが極端な熱、湿気、埃にさらされないように注意してください。

スポットライトの頭部と脚部にある換気口とスロットは、デバイスの信頼性の高い動作を確保し、過熱から保護するための換気に使用され、これらの開口部はカバーしてはいけません。

スポットライトの使用中は、フロントレンズを絶対に覆わないでください。

開口部を物質やその他の物体で覆い、気道をふさがないようにしてください。

このデバイスは、適切な換気のない環境で使用しないでください。

このデバイスは、ハウジングが閉じられ、すべてのネジ/カムロックがしっかりと締められているときのみ操作できます。

本装置は、必ず追加の安全装置で固定してください。

取り付け、変更、取り外しの際は、スポットライトの下側が見えないようにしてください。



注意：発光部と被照射面との距離は、少なくとも2.0m以上必要です。

最高周囲温度45°Cを超えないようにしてください。



注意：フロントレンズが目に見えて損傷し、機能が損なわれている場合（例：亀裂や深い傷など）は、必ず交換してください。

この機器の機能を理解するまでは、操作しないでください。この機器を使用する資格のない人が操作しないようにしてください。ほとんどの損傷は、不適切な操作の結果です。デバイスを輸送する場合は、元のパッケージまたは特別に適合させたフライトケースを使用してください。元の梱包材を使用する場合は、ロックが閉まっていはいけません。



注意：ライトヘッドの内部部品の損傷を避けるため、フロントレンズに直接太陽光を当てないで下さい。

5. 設置方法

5.1 装置の開梱

梱包の中身は次の通りです。本スポットライト、オメガブラケット（カムロック社製オリジナルファスナー付き）2個、powerCON-TRUE1ケーブル、安全上の注意事項。これらの説明書は出荷時に同梱されています。梱包を上部から開け、powerCON TRUE1 ケーブル、安全に関する注意事項を取り出します。オメガブラケットは、スポットライトの下にあります。P9 に輸送中の破損の可能性がないかを確認します。破損がある場合は、すぐに運送会社に伝えてください。


5.2 接続ケーブルにプラグを取り付ける



注意：プラグの取り付けは専門家に依頼してください。

P10 Profile には、powerCON- TRUE1 プラグ付の部分が組み立てられた電源ケーブルが付属しています。P10 Profile を電源（100-240V、50-60Hz）に接続する際は、必ず専門の技術者が行ってください。

ドイツ/ヨーロッパでの接続

ワイヤーカラー	機能	記号
茶色	相1	“L”
青色	中性線	“N”
緑／黄色	アース	“PE” 

ヨーロッパ以外での接続

P10は、以下の電源システムでのみ動作させることができます。

	Mains		P12
2 wires, 1 phase	L N		L N PE
3 wires, 1 phase	L N L		L N
4 wires, 3 phases	L 1 L 2 L 3 N		L N PE



注意

カナダでは、P10は最大電圧120Vの2線式単相ネットワークでのみ使用可能です。

5.3 主電源接続

接続される負荷 電圧 100-240V、周波数 50-60Hz、最大電力 490VA

本装置の電気的安全性と機能は、適切に設置された保護導体システムに接続された場合にのみ保証されます。この基本的な安全要件が満たされていることが非常に重要です。疑問がある場合は、専門家に電気設備の点検を依頼してください。保護導線の欠落や断線による損害（感電など）については、メーカーは責任を負いかねますのでご了承ください。電気部品に触れないよう、完全に組み立てた状態でのみ使用してください。（危険 100-240V）

記載されている点を守っていただければ、デバイスのプラグを差し込むか、専門家に依頼して主電源に接続することができます。



注意：P10は、スタンドアロン動作が有効な場合、またはDMX信号が存在する場合、すぐに点灯することができます！

5.4 電源フィードスルーの配線



注意：必ず専門家に依頼してください。

P10は、powerCON-TRUE1 outの電源出力を備えています。現地の状況に応じて、複数の機器をpowerCON-TRUE1 inとpowerCON-TRUE1 outでリンクさせることが可能です。P10は最大6台（230V/16A使用時）並べて接続してください。

断面積1.5 mm²以上の認可済み3芯ケーブルを使用してください。ケーブルの接続には、ノイトリック社の純正コード付きプラグを使用する必要があります。製造元（www.neutrik.com）の設置説明書とケーブルの色分けを必ず守ってください。

ワイヤーカラー	機能	記号
茶色	相1	“L”
青色	中性線	“N”
緑／黄色	アース	“PE”

5.5 信号の接続

5.5.1 DMXケーブル配線

DMXケーブル（信号線）は、シールド付き4ピンケーブルで配線してください。DMXケーブル（110オーム、2x0.22mm²または4x0.22mm²）をお勧めします。プラグとソケットは5ピンXLRコネクタで、専門店で購入することができます。

Pin assignment:

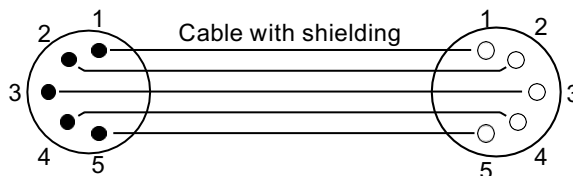
Pin1 = Ground/Shielding

Pin2 = DMX -

Pin3 = DMX +

Pin4 = not connected

Pin5 = not connected



P10には、DMX-inとDMX-outのコネクタがあります。ここで、あなたのコントローラーのDMX出力を1番目のP10に接続します（Controller DMX-Out → P10 DMX-In）。次に、1台目のP10を2台目のP10に接続します（P10 DMX-Out → P10 DMX-In）といった具合です。場合によっては、いわゆるエンドコネクタ（2番ピンと3番ピンの間に120オームの抵抗が入ったXLRコネクタ）を挿入することが推奨されます。エンドコネクタが必要かどうかは、使用するケーブルの長さやデバイスの数など、さまざまな要因によります。しかし、DMXラインに問題が生じない限り、これは必要ではありません。

5.5.2 イーサネットケーブルの配線

イーサネットのケーブル配線は、標準的なネットワーク回線で行うことができます。デバイスのソケットはNeutrik社のEtherCONソケットを使用しています。Neutrik社では、EtherCONコネクタ付きの専用ケーブルを推奨しています。P10の2つのソケットは、スイッチを介して互いに接続されています。最大10台の機器を遅延なく直列に接続することができます。もちろん、外部スイッチを介してスポットライトをスター型構成で供給することも可能です。受信した信号は、DMXで出力することができます。そのためには、PERSONALITYメニューのDMX OUTPUT CONFIG設定をONに設定します。ENTERで確定すると、スポットライトはDMX経由で受信した全ユニバースを発光させます。



注意：同時にDMX入力に信号がないことを確認してください！

5.5.3 ワイヤレス受信

P10は、ワイヤレスDMX用のLumenRadio GRMX受信機を標準装備しています。受信機はDMXとRDMの両方を処理することができます。P10にケーブル接続とワイヤレス接続を行った場合、ケーブル接続が優先されます！受信した信号はDMXで出力することができます。受信した信号はDMXで出力することができます。そのためには、PERSONALITYメニューのDMX OUTPUT CONFIG設定をONにします。ENTERで確定すると、スポットライトはDMX経由で受信した全ユニバースを発光させます。



注意：同時にDMX入力に信号がないことを確認してください！

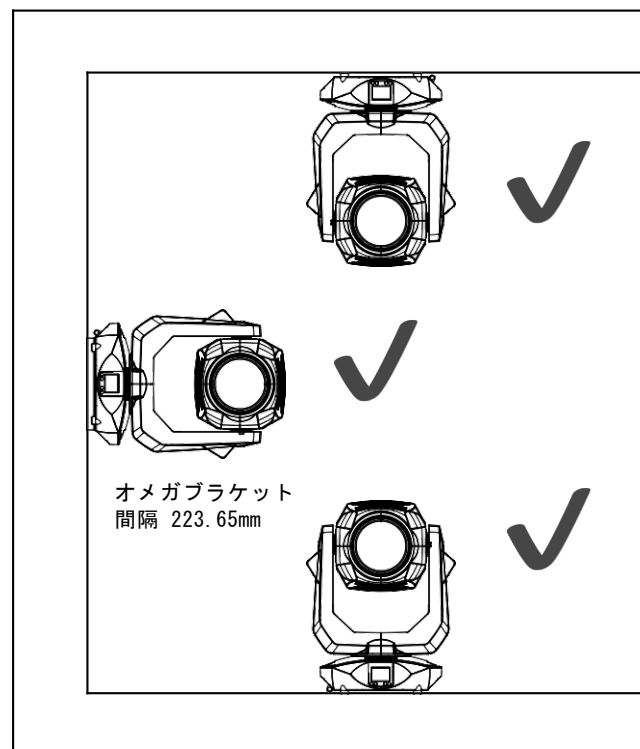
5.6 デバイスの取り付け



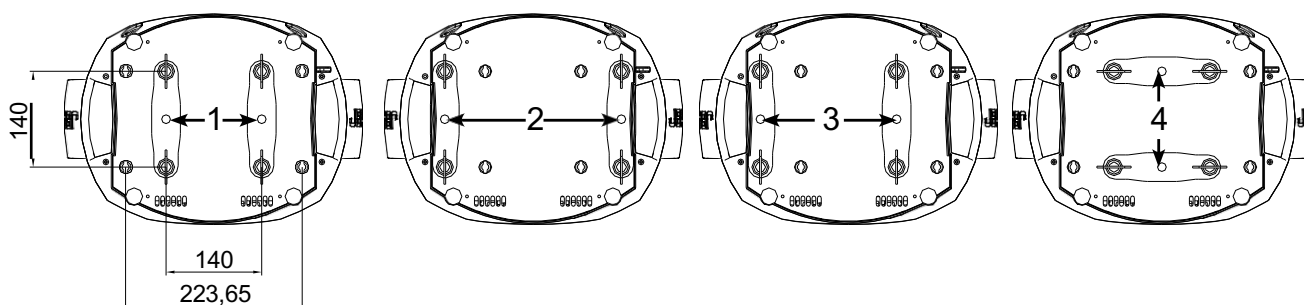
注意：燃えやすいものから0.5m以上離し、発光部と被照射面との距離を2.0m以上とってください。

P10 Profileは、床に置いたり、トラスシステムに吊ることができます。また、図面のようにトラスシステムに水平に設置する場合は、オメガブラケットを外側のカムロックに取り付けた場合のみ可能です。(距離223.65mm)。

ユニットを床に置く場合は、ベース部の吸気口が何かで覆われていないことを確認し、堅い地面の上に置くようにしてください。



トラスシステムにユニットを取り付けるには、JB-Lightingオリジナルのオメガブラケットを2個、オリジナルのカムロックコネクターと組み合わせて使用します。オメガブラケットには、次の4つの取り付け方法があります。



カムロックは、正しくロックされるために、スナップインする必要があります。フィクスチャーを取り付ける構造物（例えば、トラスシステム）が安全であることを確認してください。フィクスチャーをハンギング・システム（例えば、トラス・システム）に取り付ける場合、フィクスチャーの重量の少なくとも10倍を支えることができる安全ケーブルを必ず取り付けてください。固定具には、セーフティーケーブル用フックがあります（写真参照）。



セーフティーケーブル用フック

6. 操作パネル

P10Profile にはグラフィックカラータッチディスプレイが搭載されており、吊り下げ設置時には180° 回転させることができます。ディスプレイは、PERSONALITY MENU またはメイン画面のショートカット ENTER + UP で回転させることができます。

P10Profile のすべてのパラメータはコントロールパネルで設定できます。

ディスプレイの機能と操作

メインメニューでは、設定されているDMXモードと、ワイヤレスモードがオンになっている場合、関連する送信モジュールの電界強度に関する情報が表示されます。“ENTER”はサブメニューを呼び出したり、入力を確認したりします。“ESC”は機能またはメニュー項目を終了するのに使用します。“UP”と“DOWN”は、メニュー内の移動と値の入力に使用します。



特別な領域は、特定のキーの組み合わせでのみ呼び出すことができます。

そのためには、「ENTER」キーを押しながら、反対の「ESC」キーでメニューにアクセスします。

機能を終了するには、逆の手順で行います。

この機能は、SERVICEエリアではFINE ADJUST機能、STANDALONEエリアではMODIFY、RUN、REMOTE機能で適用されます。

メインメニューは、不用意なアクセスを防ぐためにロックすることもできます。「ENTER」キーを押しながら（押したまま）、反対側の「ESC」キーで追加ロックすることも可能です。

ソフトウェア1.5.0以降では、すべての機能をタッチディスプレイで操作することも可能です。

機能表示としてのディスプレイ照明

リセット中はディスプレイ照明が消灯したままになります。“JB-Lighting”表示時にディスプレイの照明がゆっくり点滅するのは、DMX信号がないことを意味します。

“JB-Lighting”表示時にディスプレイ照明が非常に速く点滅するのは、新しいエラーが“ERROR LIST”に保存されていることを意味し、ディスプレイのエラーメッセージ（例：*PAN TIMEOUT）はこの現在のエラーを示しています。このエラーは、今回のリセット時またはそれ以前の操作で発生したものです。このエラーは自動的に“read”に設定されますが、“ERROR LIST”には表示されません。

表示灯の高速点滅は、「ERROR LIST」内にエラーが残っているが、すでに確認された、または自動的に確認されたことを示します。エラーが「ERROR LIST」から削除されたときのみ、P9 Beamspot はエラー信号なしで再スタートします。

エラーが何度も発生する場合は、販売店/代理店または弊社サービス部門にご連絡ください。P9 BeamspotがDMX信号を受信すると、30秒後にディスプレイ・イルミネーションが消えます。

ディスプレイ照明の詳細な設定は、14ページ「BACKLIGHT MODE」を参照してください。

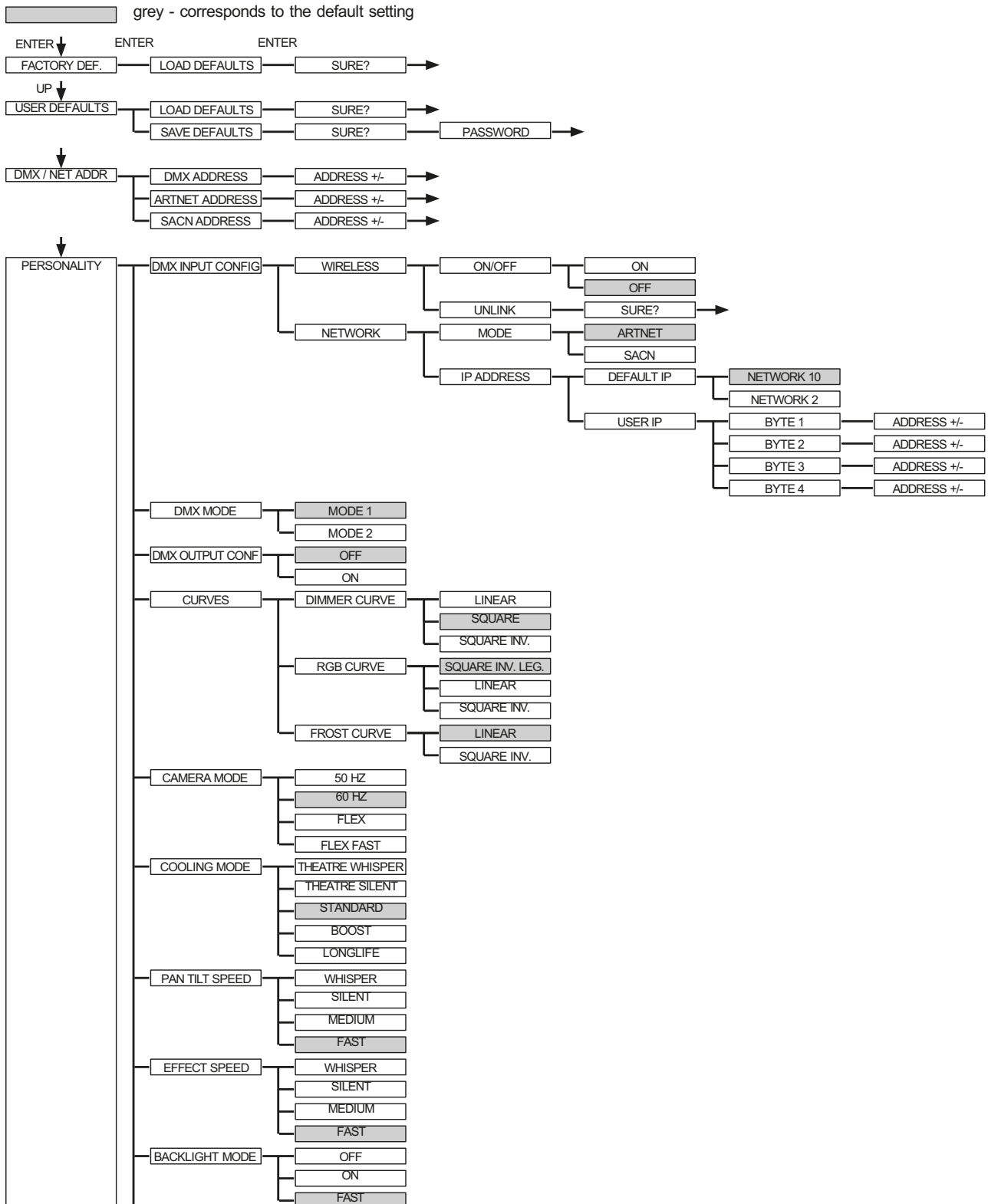
DMXアドレス設定

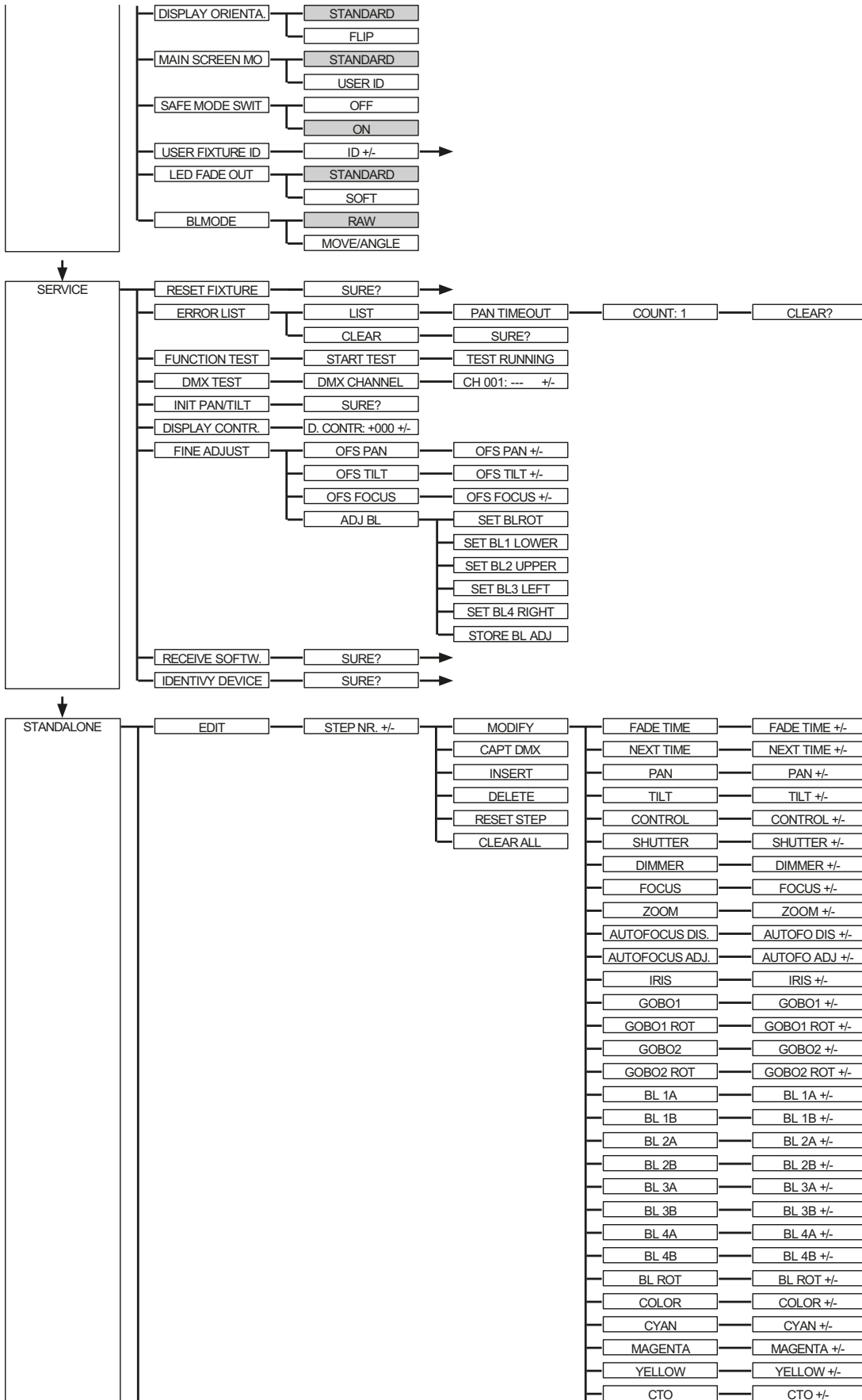
メインメニューで、DMXアドレスはアップ/ダウンキーを押して直接設定することができます。

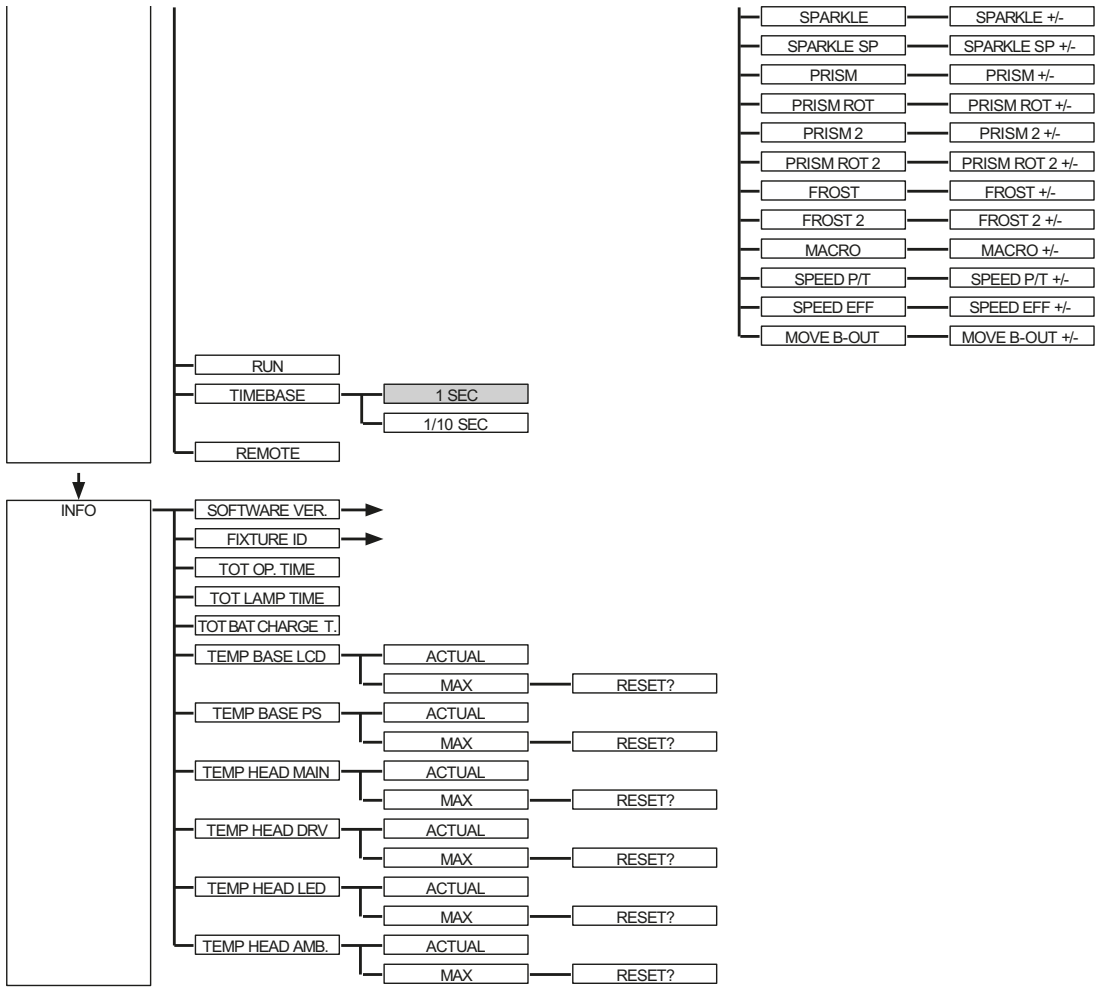
バッテリーバックアップによるディスプレイ操作

ディスプレイ下の左ボタンを押すと、ヘッドランプの設定用バッテリー動作が有効になり、電源がなくても設定できるようになります。メニューで表示される全ての設定が可能で、例えばDMXアドレスの設定も可能です。

6.1 Menu overview P10 Profile







6.2 FACTORY DEFAULTS -工場出荷時の設定

P10 Profileを工場出荷時の設定に戻すには、メニューの「FACTORY DEFAULTS」→「LOAD DEFAULTS」を実行します。ENTER "ボタンを2秒間押して、セキュリティクエリ "SURE? "を確認すると、すべてのパラメータが工場出荷時の設定にリセットされます。

6.3 USER DEFAULTS -ユーザー設定

PERSONALITYメニューのP10 Profileをユーザーが個人的に設定した場合、USER DEFAULTS メニューで保存・読み込みが可能です。不用意な改変を防ぐため、保存の際には以下のパスワードの入力が必要です。パスワードはボタン "ESC DOWN UP ENTER"

6.4 DMX / NET ADDRESS - DMXアドレス/Artnetアドレス/sACNアドレス。

DMXアドレスの設定は、ディスプレイ上で直接行うこともできます。「UP」または「DOWN」ボタンを押して、希望の DMX アドレスを設定します。ENTER "キーで値を確定します。

DMXアドレスは、DMX / NET ADDRメニューのDMX ADDRESSで設定することもできます。

アートネットアドレスを設定するには、DMX / NET ADDR メニューで ARTNET ADDRESS メニューを選択する必要があります。UP / DOWN ボタンでアートネットアドレスを設定することができます。アートネットアドレスは、000.00.00 の形式で表示されます。この表示は、次のように対応します。Net.Subnet.Universum. sACNアドレスは、DMX / NET ADDR -> sACN ADDRESSメニューで選択することができます。アドレスは UP / DOWN ボタンで設定できます。sACN アドレスは 00000 の形式で表示されます。

6.5 PERSONALITY -個人設定

DMX INPUT CONFIG

このメニューでは、WIRELESS（ワイヤレス）とNETWORK（ネットワーク）のオプションが利用可能です。

WIRELESS -> ON / OFFで、Lumen-Radio製の工場にインストールされた無線DMXレシーバーモジュールを有効または無効にすることができ、WIRELESS -> UNLINKで、接続されたトランスミッターとの接続を削除することができます。器具をトランスミッターに接続するために、器具のワイヤレスがオンに設定され、トランスミッターのコネクションボタンを短く押さなければなりません。トランスミッターは、ワイヤレスが有効になっているすべてのフィクスチャーとトランスミッターに接続されていないフィクスチャーを探すようになりました。P10 Profileがトランスミッターに正常に接続されると、ディスプレイには現在の受信品質がレベル表示されます。P10 ProfileがDMX/イーサコン接続ソケットで追加接続されている場合は、これらの信号が無線リンクよりも優先されます。メインメニューで押すショートカットキーESCとDOWNを使用すると、ヘッドランプを予約送信機から予約することができます（22ページ参照）。

NETWORK -> MODEで、Artnet運用とsACN運用を切り替えることができます。

ネットワーク操作の場合、スポットライトのIPアドレスは、NETWORK

-> IP ADDRESSで選択または設定する必要があります。各ヘッドライトには、固有の標準IPアドレスがあります。

IP ADDRESS -> DEFAULT IPで、これをネットワーク10.xxx.xxx.xxxからネットワーク2.xxx.xxxに変更することができます。自分で定義可能なIPアドレスについては、「IP ADDRESS -> USER-IP」で自分の希望するIPアドレスを設定することができます。このアドレスはBYTE1～BYTE4に分かれており、順次設定することができます。

DMX MODE - 動作モードの設定

P10 Profileには、2つの操作モードがあります（25ページのチャンネル割り当てを参照）。P10 Profile のすべてのパラメータは、モード 1 で操作できます。ただし、すべてのチャンネル（パン/チルトを除く）は8ビットで制御されます。モード2 - 16ビットを選択すると、ゴボ、プリズム回転、CMY/CTO (CTB)、ディマー、フォーカス、ズーム、シャッタースライドユニット全体、パン/チルトは16ビットで制御されます。

DMX OUTPUT CONFIG - DMX出力の設定

このメニュー項目で、ヘッドランプのDMX出力を有効にすることができます。つまり、受信したアートネット、またはワイヤレスDMX信号は、このメニュー項目を有効にして→ DMXソケット経由で再度ONにすることで出力することができるのです。同時にDMX入力に信号がないことを確認してください!

CURVES - setting dimmer, RGB/CMY, frost curveDimmer curve:

The dimmer curve can be changed from SQUARE to LINEAR and to SQUARE INV.. The "exponential" dimmer curve (factory setting) causes the dimmer to fade in and out more smoothly.

RGB/CMY curve:

ディマーカーブを「SQUARE」から「LINEAR」、「SQUARE INV...」に変更できます。指数関数的なディマーカーブ（出荷時設定）は、ディマーのフェードイン、フェードアウトがよりスムーズに行われます。

Frost curve:

フロストカーブは、リニアから逆エクスポネンシャル(square inv.)に変更することができます。逆指数フロストカーブでは、フロストのフェードインとフェードアウトがよりスムーズになります。

CAMERA MODE - LEDの周波数を設定する

テレビ録画時のちらつきを防ぐため、P10 Profileは、異なるカメラシステム用に50HZ（PAL、Secam、繰り返し周波数100Hz）～60HZ（NTSC、繰り返し周波数100Hz）に調整することができます。カメラシステムが異なる場合や、携帯電話用カメラなど業務用ではないカメラで撮影する場合は、フレックスモード（レピータ600Hz）を設定します。また、HighFlexモードも用意されています。このモードでは、薄暗い照明のシーンでスムーズな動きを確保するために必要な、繰り返し周波数が3kHzに設定されます。P10 Profileの工場出荷時の設定は60Hzです。切り替えは、コントロールチャンネルを経由してコンソールでも可能です。

COOLING MODE -輝度調整、ファンコントロール

「COOLING MODE」メニューでは、ファンコントロールとP10 Profileの明るさを設定することができます。以下の設定が可能です。

THEATRE WHISPER: 明るさ11500lm、音量29dB(a)。このモードでは、スポットライトは周囲温度40°Cまで同じ明るさで動作します。このモードでは、ファンのスピードは変化しません。

THEATRE SILENT: 明るさ12500lm、周囲温度40°Cからスポットライトは、明るさを維持し、必要に応じてファンのスピードをコントロールします。

STANDARD: 明るさ14000lm、周囲温度約36°Cからファンが作動し、それに応じてLEDを冷却します。明るさは一定に保たれます。

BOOST: 輝度15000lm、このモードではファンの回転がやや強くなり、周囲温度約40度からはそれに応じてファンスピードが変化します。

LONGLIFE: 輝度12500lm、このモードではファンの回転がやや強くなり、周囲温度約40度からはそれに応じてファンスピードが変化します。LEDモジュールがより低温で動作するため、より「ストレスフリー」であり、常設する場合はこのモードをお勧めします。

P10 Profileは温度安全シャットダウンを備えているため、どのようなモードでも機器の寿命に危険はありません。さらに、LEDモジュールは、周囲温度60°Cで電源が切れるように設定されています。

PAN TILT SPEED - setting pan/tilt speed

PAN TILT SPEED メニューでは、P10 Profile の最大速度、加速度、および移動量を設定することができます。以下の設定項目があります。

WHISPER: 29dB (A) の音量を超えない程度にパン/チルトの速度を落としています。

SILENT: パン/チルトの速度はウィスパー設定に比べ若干速く、その分音量も大きくなります。

MEDIUM: 加速・減速のランプは、ヘッドランプが柔らかくブレーキをかけて発進するように、非常に柔らかく設定されています。

FAST: 加速と減速は、ヘッドランプが最高速度で直接動くように、非常にハードに設定されています。

EFFECT SPEED - setting effect speed

EFFECT SPEED メニューでは、P10 Profile の最大スピード、エフェクト、およびエフェクトの音量を設定することができます。以下の設定項目があります。

WHISPER: 29dB (A) の音量を超えない範囲でエフェクトのスピードを落としています。

SILENT: エフェクトのスピードが若干速くなるため、「ウィスパー」設定時よりも若干音量が大きくなります。

MEDIUM: エフェクトの加速、減速時のヘッドランプは非常にソフトに設定されているため、ノイズはほとんど発生しません。

FAST: 加速と減速のヘッドランプは最大速度に設定されています。非常に高速なゴボやカラーチェンジが可能です。

BACKLIGHT MODE -ディスプレイバックライトの設定

このメニュー項目は、ディスプレイのバックライトを制御します。

OFF: ディスプレイのバックライトは常に消灯しています。ボタンが押されたときのみ点灯します。このモードでは、点滅で表示されるエラーは表示されません。

ON: ディスプレイのバックライトが常に点灯しています。

AUTO: 操作によりバックライトの点灯/消灯が切り替わります。

DISPLAY ORIENTATION -ディスプレイの向きを設定する

このメニュー項目は、ディスプレイの向きを回転させます。メイン画面でショートカットキー ENTER と UP を押したときにも、ディスプレイを回転させることができます。

MAIN SCREEN MODE -メイン画面表示

このメニュー項目で、メイン画面の表示を変更することができます。DMXアドレスとDMXモードを表示した標準 (STAND- ARD) 画面か、USER FIXTURE IDのどちらかを表示します。このIDは、ヘッドライトに番号を付け、ディスプレイにこの番号を表示するために使用されます。

SAFE MODE SWITCH -セーフモードスイッチの設定

この設定は、メニュー項目「COOLING MODE」の切り替えを直接「OFF」にするか、安全のために器具のディマーとシャッターを閉じてから切り替えるかを定めるために使用します。

USER FIXTURE ID -ユーザーフィクスチャーIDの調整

USER FIXTURE ID (0~65535) を設定します。MAIN SCREEN MODE で表示可能で、ヘッドライト番号のインフォメーション表示となります。

LED FADE OUT -調光方式

0~5%の範囲で下限をどのように調光するかを設定します。

STANDARD : ヘッドランプ調光時、すべてのLEDが同時にディムアウトします。

SOFT : ヘッドランプ調光時、LEDをグループ（一列）ごとに順次ディマーアウトします。

BLMODE - シャッター制御の種類

シャッター制御の切り替えに使用します。RAW設定では、個々の絞りの2つのモーターはDMXを介して別々に制御されます。MOVE/ANGLE設定時は、1チャンネルを移動チャンネルとして使用し、2チャンネルで各絞りの角度を設定する。

6.6 STANDALONE動作

スタンドアロン動作では、最大20のプログラムステップをP10プロファイルに保存し、エンドレスループで動作させることができます。画像の保存は、2つの方法で行うことができます。P10 Profile上で直接希望のDMX値をプログラムして保存するか、接続したDMXコンソールでDMX値を設定してからP10 Profileに保存するかです。

MODIFY、RUN、REMOTEのメニュー項目は、特定のキーの組み合わせでのみ呼び出すことができます。ENTER "を押しながら、"ESC "も押してください。これらのメニューを起動する前に、DMXを送信する他のデバイス（スレーブデバイスとして設定されていないコンソールや他のスポットライトなど）をDMXラインからすべて取り外してください。

スポットライト・ディスプレイでスタンドアロン・プログラムをプログラムする:

STANDALONE、EDIT メニュー項目を呼び出します。STEP NR+/-メニュー項目で、任意のステップを選択し、次のメニュー項目でそのステップとチャンネルパラメータを変更します。

MODIFY メニューでは、希望の照明シーンと位置を設定し、FADE TIME と NEXT TIME（ステップ全体の時間）でステップの個別シーケンス時間を決定します。

INSERTを使用して、追加のプログラミングステップを挿入します。前のステップのDMX値は、新しいステップにコピーされます。

DELETEを使ってステップを削除します。STEP NR: 1/X と表示されます。選択キーを使って、希望のステップに移動します。

RESET STEPで、1ステップを初期値（DMX000）に戻します。STEP NR:1/X "と表示されず。選択キーを使って、ステップを選択します。CLEAR ALLは、スタンドアロンプログラミングの全ステップをリセットします。MODIFYの下に再びSTEP1/1が表示されます。

STANDALONE、TIMEBASE メニューでは、Fade Time と Next Time を 1 秒から 1/10 秒の間で変更することができます。

外部コンソールからDMX値を受け入れる:

接続されたコンソールのDMX値を受け入れるには、まずCapture DMX入力を有効にする必要があります。これを行うには、CAPT DMX メニュー項目に進みます。ディスプレイにはCAPTURE DMX 01/01 と表示され、Enter キーを押して START CAPTURE に切り替わります。これで、P10 Profile は外部コンソールからの信号に反応するようになりました。

スタンドアロンプログラムを起動:

「STANDALONE」メニューを呼び出し、「RUN」サブメニューに移動します。ENTER"（長押し）と"ESC"を同時に押して、選択を確認します。その後、ディスプレイに表示されます。S-ALONE: 01/XX と表示され、プログラムは無限ループで実行されます。

無効化する場合、ESC "キーを押しながら "ENTER "キーも押します。メニューが1レベル戻り、ディスプレイに「RUN」と表示されます。

マスター・スレーブ機能による操作:

P10 Profile を DMXラインで接続し、すべてのスレーブ機器に対して REMOTE メニューを有効にします。STANDALONEメニューで REMOTEサブメニューに移動します。ENTER "を押しながら、"ESC "も押してREMOTE機能を有効にします。ディスプレイにREMOTE INACTIVEまたはREMOTE ACTIVEのステータスが表示されると、スポットライトはスレーブモードになります。

REMOTE INACTIVE : P10 Profileはスレーブモードですが、DMX信号を受信していません。

REMOTE ACTIVE : P10 Profileはスレーブモードで、DMX信号を受信しています。

マスターデバイスはMODIFYメニューでプログラムされ、RUN ("ENTER "を押しながら "ESC "も押す) で起動します。

スポットライト・ソフトウェア1.5からは、当社が提供するアプリを介してスタンドアロン動作のプログラムも可能です。

6.7 INFO-menu

情報メニューは、それぞれのソフトウェア、フィクスチャーID、合計動作時間、スポットライトの異なる温度についてお知らせします。情報エリアの最初の2つのメニュー項目は、ソフトウェアバージョンとフィクスチャーIDで、ソフトウェアバージョンは当社のサービス依頼のための重要な情報源で、フィクスチャーIDは内部情報のあまり重要な情報源ではありません。

TOT OPERATE TIME (トットオペレートタイム) メニューの下に、ヘッドライトの完全な動作時間が表示されます。TOT LAMP TIME (ランプ時間) メニューでは、LEDモジュールの純粋な動作時間が表示されます。TOT BAT CHARGE TIMEは、バッテリー (バッテリーバックアップ) の完全な充電時間 を表示します。TOT OPERATE TIMEとTOT BAT CHARGE TIMEは削除できません! TOT OPERATE TIMEとTOT BAT CHARGE TIMEは削除できません。また、以下の温度も表示されます。:

TEMP BASE LCD, 表示板に表示される温度

TEMP BASE PS, 電源ユニットの温度

TEMP HEAD MAIN, ヘッドボードの温度

TEMP HEAD DRV, LEDドライバボードの温度

TEMP HEAD LED, LEDモジュールの温度

TEMP HEAD AMBIENT,吸気口付近のヘッド内温度 (周囲温度)

現在温度と最高温度の両方が表示されます。最高温度は個別に削除することができます。

6.8 Shortcuts - quick access

ESC + DOWN

メイン・メニューでESCとDOWNボタンを押すと、プログラムされたLumenRadio Wireless トランスミッターからフィクスチャーをログアウトします。これで、フィクスチャーは別のトランスミッターにログされる準備が整いました。

ENTER + UP

メイン画面でENTER+UPキーを押すと、画面の向きが180°回転します。

ENTER + ESC

ENTERとESCキーを押すことによって、フィクスチャーはユーザー入力に対してロックされます -> LOCKED. ESCとENTERで再びロックが解除されます!

7. Control options

7.1 DMX

7.1.1 Operating modes P10 Profile

P10 Profileには、2種類のDMXモードがあります。それぞれのモードは、PERSONALITY DMX MODE メニュー項目で設定できます。設定されたモードは、メインメニューに表示されます。

	Mode 1 (M1)	Mode 2 (M2)
Channel 1	Pan	Pan
Channel 2	Pan fine	Pan fine
Channel 3	Tilt	Tilt
Channel 4	Tilt fine	Tilt fine
Channel 5	Control channel	Control channel
Channel 6	Shutter	Shutter
Channel 7	Dimmer	Dimmer
Channel 8	Focus	Fine dimmer
Channel 9	Zoom	Focus
Channel 10	Autofocus distance	Fine focus
Channel 11	Reserved	Zoom
Channel 12	Iris	Fine zoom
Channel 13	Gobo 1	Autofocus distance
Channel 14	Gobo 1 rotation	Reserved
Channel 15	Gobo 2	Iris
Channel 16	Gobo 2 rotation	Fine iris
Channel 17	Aperture 1a	Gobo 1
Channel 18	Aperture 1b	Gobo 1 rotation
Channel 19	Aperture 2a	Gobo 1 fine rotation
Channel 20	Aperture 2b	Gobo 2
Channel 21	Aperture 3a	Gobo 2 rotation
Channel 22	Aperture 3b	Gobo 2 fine rotation
Channel 23	Aperture 4a	Aperture 1a
Channel 24	Aperture 4b	Aperture 1a fine
Channel 25	Aperture rotation	Aperture 1b
Channel 26	Colour wheel	Aperture 1b fine
Channel 27	Cyan	Aperture 2a
Channel 28	Magenta	Aperture 2a fine
Channel 29	Yellow	Aperture 2b
Channel 30	CTO	Aperture 2b fine
Channel 31	Sparkle	Aperture 3a
Channel 32	Sparkle speed	Aperture 3a fine
Channel 33	Prism 1	Aperture 3b
Channel 34	Prism 1 rotation	Aperture 3b fine
Channel 35	Frost 1	Aperture 4a
Channel 36	Frost 2	Aperture 4a fine
Channel 37	Effects macro	Aperture 4b
Channel 38	Pan/tilt speed	Aperture 4b fine
Channel 39	Effect speed	Aperture rotation
Channel 40	Blackout Move	Fine aperture rotation

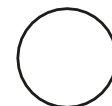
Channel 41	Colour wheel
Channel 42	Cyan
Channel 43	Fine cyan
Channel 44	Magenta
Channel 45	Fine magenta
Channel 46	Yellow
Channel 47	Fine yellow
Channel 48	CTO
Channel 49	CTO fine
Channel 50	Sparkle
Channel 51	Sparkle speed
Channel 52	Prism 1
Channel 53	Prism 1 rotation
Channel 54	Prism 1 fine rotation
Channel 55	Frost 1
Channel 56	Frost 2
Channel 57	Effects macro
Channel 58	Pan/tilt speed
Channel 59	Effect speed
Channel 60	Blackout Move


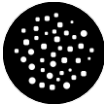




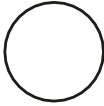


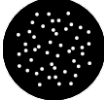
7.1.2 DMX channel functions P10 Profile


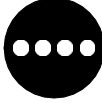

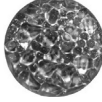
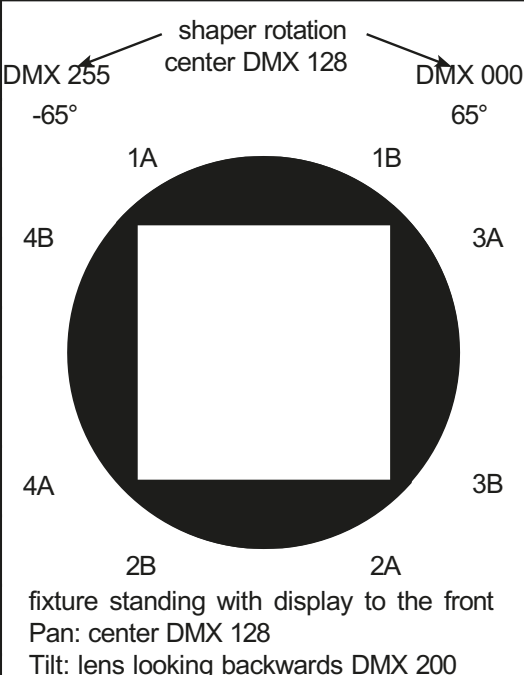
M1	M2	M3	Function	DMX
1	1		Pan (X) movement 546,74°	000-255
2	2		Pan (X) fine (16 Bit)	000-255
3	3		Tilt (Y) movement 281,16°	000-255
4	4		Tilt (Y) fine (16 Bit)	000-255
5	5		<p><u>Control channel</u></p> <p>すべてのライトミキシングコンソールのフェーダーから手動で均一な調光を可能にするため、DMXスムージングを5段階で設定することができます。 DMX信号が途切れたり、送信されるパケットが少なすぎるDMXコンソールがある場合、P10の応答はこのチャンネルで調整することができます。最小DMXスムージング設定は、ほとんどの一般的なコンソールで動作するはずですが、DMXスムージングの値は永続的でなければなりません。冷却モード、色温度、ズームモード、カメラモード、リセットなどの他の値については、値を2秒間適用する必要があるため、その後デバイスは恒久的に切り替わります。 (PERSONALITYメニューと同じ設定)</p> <p>DMXのスムージングを最小限にするための設定 (ディマーシャッターシークエンスが可能) フェーダーによるディマーフェードアウト(fast - slow) 未使用</p> <p>DMXスムージングの最小／中程度の設定 フェーダーによるディマーフェードアウト (fast - slow) 未使用</p> <p>DMXスムージングを中程度にするための設定 フェーダーによるディマーフェードアウト (fast - slow) 未使用</p> <p>DMXスムージングを中／最大にする設定 フェーダーによるディマーフェードアウト (fast - slow)</p> <p>BACKLIGHT MODE -ディスプレイバックライトの設定 AUTO -バックライトの自動制御 ON -バックライトは常に点灯しています OFF -バックライトはキーが押されるまで常に消灯しています</p> <p>DISPLAY ORIENTATION - display flip or not STANDARD -ヘッドランプが置き状態で、表示が読み取れます FLIP -ディスプレイの向きを180° 回転させます 未使用</p> <p>MAIN SCREEN MODE -メイン画面表示 STANDARD -クリックすると、メイン画面にDMXアドレス、DMXモード、ワイヤレスが有効な場合は電界強度が表示されます USER FIXTURE ID -メイン・スクリーンは、ユーザーが定義できるフィクスチャーID/ ヘッドライト・ナンバーを表示します 未使用</p> <p>USER FIXTURE ID SET -ヘッドライト番号の設定 SET - USER IDを設定することができます。ヘッドランプはUSER IDにPanという16bitの値をとります 未使用</p> <p>DMXのスムージングを最大にするための設定 フェーダーによるディマーフェードアウト (fast - slow)</p>	<p>000-007 008-031</p> <p>032-039 040-063</p> <p>064-071 072-095</p> <p>096-103</p> <p>104-104 105-105 106-106</p> <p>107-107 108-108 109-109</p> <p>110-110 111-111 112-112</p> <p>113-113 114-127</p> <p>128-135</p>

	DIMMER CURVE - 調光カーブの選択	
	LINEAR - リニアディマーカーブ	136-136
	SQUARE - エクステンシブディマーカーブ	137-137
	SQUARE INVERSE - 指数逆調光カーブ	138-138
	未使用	139-139
	RGB/CMY CURVE - selection of RGB/CMY curve	
	SQUARE INVERSE LEGACY - 指数関数的逆行列のレガシーRGB/CMYカーブ	140-140
	LINEAR - P18 MK2に適合したリニアRGB/CMYカーブ	141-141
	SQUARE INVERSE - P18 MK2に適合した指数関数的な逆RGB/CMYカーブ	142-142
	FROST CURVE - フロストカーブの選択	
	LINEAR - リニアフロストカーブ	143-143
	SQUARE INVERSE - 指数関数的な逆フロストカーブ	144-144
	未使用	145-145
	PAN/TILT SPEED - PAN/TILTスピードの選択	
	WHISPER	146-146
	SILENT	147-147
	MEDIUM	148-148
	FAST	149-149
	EFFECT SPEED - エフェクトスピードの選択	
	WHISPER	150-150
	SILENT	151-151
	MEDIUM	152-152
	FAST	153-153
	LED FADE OUT MODE - ディミングアウトの選択	
	STANDARD	154-154
	SOFT	155-155
	BLMODE - シャッター・コントロール	
	RAW	156-156
	MOVE/ANGLE	157-157
	未使用	158-159
	COOLING MODE - ファンの音量と明るさの調整	
	これはディマー/シャッターを閉じた状態 (DMX 000) で行われ、2秒後に器具がこのオプションを切り替えます。ただし、PERSONALITYメニューの "SAFE MODE SWITCH" スイッチをOFFにすると、ディマーとシャッターを閉じずに直接切り替えることができます。	
	THEATRE WHISPER	160-160
	THEATRE SILENT	161-161
	STANDARD	162-162
	BOOST	163-163
	LOGLIFE	164-164
	未使用	165-207
	CAMERA MODE - LEDリフレッシュレートの設定	
	50Hz	208-215
	60Hz	216-223
	FLEX - 600Hz	224-227
	High FLEX - 3kHz	228-231
	未使用	232-239
	RESET - フィクスチャーの基本的なリセットが行われます。	
	Reset	240-247
	名称設定無し	248-255

6	6	<p>Shutter Shutter closed Shutter open Open pulsing shutter >20Hz (rapid - slow) Shutter open Fade effect with dimmer (slow - rapid) Shutter open Shutter closed Open pulsing shutter <20Hz (rapid - slow) Shutter open Close pulsing shutter >20Hz (rapid - slow) Shutter closed Shutter fade, 0% (rapid - slow) Shutter open Shutter fade, 100% (rapid - slow) Shutter closed Random shutter 100% (rapid - slow) Shutter open Random shutter 0% (rapid - slow) Shutter closed Random shutter fade, 0% (rapid- slow) Shutter open Random shutter fade, 100% (rapid- slow) Shutter open</p>	000-015 016-095 096-110 111-111 112-125 126-126 127-126 128-142 143-143 144-158 159-159 160-174 175-175 176-190 191-191 192-206 207-207 208-222 223-223 224-238 239-239 240-254 255-255
7	7	Dimmer 0 - 100%	000-255
	8	Dimmer fine (16Bit)	000
8	9	Focus 0-100%	000-255
	10	Focus fine (16 Bit)	000-255
9	11	Zoom 0 -100% (near 5.7° - far 60°)	000-255
	12	Zoom fine (16 Bit)	000-255
10	13	<p>Auto focus distance Auto focus off Auto focus 0 m - 25,5 m (0 =off, DMX / 10 = distance)</p>	000-001 002-255
11	14	Reserved (no function)	000-255
12	15	Iris 0-100% (open -> closed)	000-255
	16	Iris fine (16Bit)	000-255
13	17	<p>Gobo wheel 1 Gobo 0 (open)</p> <p>Gobo 1</p>	000-007 008-015



		Gobo 2		016-023
		Gobo 3		024-031
		Gobo 4		032-039
		Gobo 5		040-047
		Gobo 6		048-055
		Gobo 7		056-127
		Gobo 0 (open)		128-135
		Gobo 1 shake (fast - slow)		136-143
		Gobo 2 shake (fast - slow)		144-151
		Gobo 3 shake (fast - slow)		152-159
		Gobo 4 shake (fast - slow)		160-167
		Gobo 5 shake (fast - slow)		168-175
		Gobo 6 shake (fast - slow)		176-183
		Gobo 7 shake (fast - slow)		184-191
		Gobo wheel rotation (fast - slow)		192-223
		Gobo wheel rotation (fast - slow)		224-255
14	18	Gobo positioning/rotation 1 Gobo positioning 0° - 540° Gobo rotation, right (rapid - slow) Stop gobo rotation Gobo rotation, left (slow - rapid)		000-191 192-222 223-224 225-255
	19	Gobo positioning/rotation 1 fine (16 Bit)		000-255
		Gobo wheel 2 - rotating gobos Gobo 0 (open)		000-007
		Gobo 1		008-015
		Gobo 2		016-023
		Gobo 3		024-031

15	20	Gobo 4		032-039
		Gobo 5		040-047
		Gobo 6		048-055
		Gobo 7		056-127
		Gobo 0 (open)		128-135
		Gobo 1 shake (fast - slow)		136-143
		Gobo 2 shake (fast - slow)		144-151
		Gobo 3 shake (fast - slow)		152-159
		Gobo 4 shake (fast - slow)		160-167
		Gobo 5 shake (fast - slow)		168-175
		Gobo 6 shake (fast - slow)		176-183
		Gobo 7 shake (fast - slow)		184-191
		Gobo wheel rotation (fast - slow)		192-223
		Gobo wheel rotation (fast - slow)		224-255
16	21	Gobo positioning/rotation 2 Gobo positioning 0° - 540° Gobo rotation, right (rapid - slow) Stop gobo rotation Gobo rotation, left (slow - rapid)		000-191 192-222 223-224 225-255
	22	Gobo positioning/rotation 2 fine (16 Bit)		000-255
17	23	Aperture 1a 0-100%	 <p>shaper rotation center DMX 128</p> <p>DMX 255 DMX 000</p> <p>-65° 65°</p> <p>1A 1B</p> <p>4B 3A</p> <p>4A 3B</p> <p>2B 2A</p> <p>fixture standing with display to the front Pan: center DMX 128 Tilt: lens looking backwards DMX 200</p>	000-255
	24	Aperture 1a fine (16 Bit)		000-255
18	25	Aperture 1b 0-100%		000-255
	26	Aperture 1b fine (16 Bit)		000-255
19	27	Aperture 2a 0-100%		000-255
	28	Aperture 2a fine (16 Bit)		000-255
20	29	Aperture 2b 0-100%		000-255
	30	Aperture 2b fine (16 Bit)		000-255
21	31	Aperture 3a 0-100%		000-255
	32	Aperture 3a fine (16 Bit)		000-255
22	33	Aperture 3b 0-100%		000-255

	34	Aperture 3b fine (16 Bit)	000-255
23	35	Aperture 4a 0-100%	000-255
	36	Aperture 4a fine (16 Bit)	000-255
24	37	Aperture 4b 0-100%	000-255
	38	Aperture 4b fine (16 Bit)	000-255
25	39	Aperture rotation -65° / +65°	000-255
	40	Aperture rotation fine (16 Bit)	000-255
26	41	Color wheel White (color shift gobo on) White (color shift gobo off) White/CTB CTB CTB/Red Red Red/Yellow Yellow Yellow/Magenta Magenta Magenta/Green Green Green/Orange Orange Orange/CRI CRI CTO Linear colors: White - CTB - Red - Yellow - Magenta - Green - Orange - CRI - CTO - White Colour cycle, right (rapid - slow) Colour cycle, left (slow - rapid)	000-000 001-001 002-003 004-005 006-007 008-009 010-011 012-013 014-015 016-017 018-019 020-021 022-023 024-025 026-027 028-029 030-063 064-191 192-223 224-255
27	42	Cyan (8 Bit) 0-100%	000-255
	43	Fine cyan (16 Bit)	000-255
28	44	Magenta (8 Bit) 0-100%	000-255
	45	Fine magenta (16 Bit)	000-255
29	46	Yellow (8 Bit) 0-100%	000-255
	47	Fine yellow (16 Bit)	000-255
30	48	CTO (8 Bit) 0-100% model HP, HC / CTB (8 Bit) 0-100% model WW	000-255
	49	CTO fine (16 Bit) / CTB fine (16 Bit) model WW	000-255

31	50	Sparkle - Glitter effect Sparkle effect inactive Sparkle effect intensity (minimum - maximum)	000-000 001-255
32	51	Sparkle speed Faded sparkle effect (slow -> rapid) Switched sparkle effect (slow -> rapid) Repetition of the fading and switching blocks	000-031 032-063 064-255
33	52	Prism 1 Open Prism 1 (5-fold linear)	000-007 008-255
34	53	Prism 1 positioning/rotation Prism positioning (0° - 540°) Prism rotation, right (rapid -> slow) Stop prism rotation Prism rotation, left (slow -> rapid)	000-191 192-222 223-224 225-255
	54	Prism 1 fine positioning/rotation (16 Bit)	000-255
35	55	Frost 1 Frost 0-100%	000-255
36	56	Frost 2 Frost 0-100%	000-255
37	57	Effects macro Macro inactive Macro 001 - Macro 255	000-000 001-255
38	58	Pan/tilt speed Real-time motion Delayed motion (rapid - slow)	000-003 004-255
39	59	Effects speed Real-time effects Delayed effects (rapid - slow)	000-003 004-255
40	60	Blackout Move Not assigned Blackout during pan/tilt Blackout during Gobo, Colour, Prism, CMY, Iris, Frost Blackout during Gobo, Colour, Prism, CMY, Iris, Frost, Zoom, Focus Blackout during Gobo, Colour, Prism, CMY, Iris, Frost, Pan/Tilt Blackout during Gobo, Colour, Prism, CMY, Iris, Frost, Zoom, Focus, Pan/Tilt	000-095 096-127 128-159 160-191 192-223 224-255

7.1.3 Control channel

コントロール・チャンネルを通じて、フィクスチャーの異なる機能をスイッチすることができます。以下の機能は、コントロール・チャンネルを介して切り替えることができます。

フェーダーによる調光時のヘッドランプの応答性

BACKLIGHT MODE - ディスプレイバックライト

DISPLAY ORIENTATION - ディスプレイの向き

MAIN SCREEN MODE - メイン画面表示

USER FIXTURE ID SET - 設定されたヘッドライトの番号

DIMMER CURVE - 調光カーブ調整

FROST CURVE - フロストカーブの設定

PAN / TILT SPEED - パン/チルトスピード

EFFECT SPEED - エフェクトスピード

LED FADE OUT MODE - 調光方式

COOLING MODE - ファンの音量と明るさを調整する

CAMERA MODE - LEDのリフレッシュレートを設定します。

RESET - ヘッドライトの基本的なリセットが行われます

詳しくは、「DMXチャンネル機能」（25ページ）をご覧ください。

7.1.4 Sparkle effect, sparkle speed

このチャンネルを経由して、フォーカスと連動したアニメーション効果を作り出すことができます。光量に応じて、プロジェクションをより多くまたはより少なく揺らすことができます。この効果は、減光または切り替えが可能です。

7.1.5 Auto focus

オートフォーカス機能を有効にするには、オートフォーカス距離チャンネルを約50%に設定します。次に、システムの微調整に最適なゴボホイール2を使用し、それに応じてフォーカスを125(32000)に設定します。次に、オートフォーカス距離を使用して、ヘッドライトに焦点を合わせて、ヘッドライトまでの距離を設定します。目安として、DMX値を10で割った値が距離に相当します(DMX100/10距離=10m)。これで、ズームによるオートフォーカスでヘッドライトを操作できるようになりました。次の表を用いて、個々のエフェクトのフォーカス値をあらかじめ選択し、オートフォーカスでズームすることができるようになりました。

	Gobo1	Gobo2	Open	Shapers	Iris
Focus 8Bit	95	125	185	195	215
Focus 16Bit	24320	32000	47360	49920	55040

7.2 Artnet

スポットライトは、Artnet - ArtNET 4を介して制御することができます。これを行うには、メニュー項目DMX / NET ADDR -> ARTNET ADDRESSを介してArtnetアドレスを設定し、メニュー項目PERSONALITY -> DMX INPUT CONFIG -> NETWORK -> MODE -> ARTNETを介してそれを選択します。さらに、スポットライトのIPアドレスをPERSONALITY -> DMX INPUT CONFIG -> NETWORK -> IP ADDRESSでスポットライトのIPアドレスを設定します。詳細および設定オプションは、18ページに記載されています。

7.3 Streaming ACN

ヘッドライトは、sACN - Streaming ACNで制御することができます。これを行うには、DMX / NET ADDR -> SACN ADDRESSメニューでsACNアドレスを設定し、PERSONALITY -> DMX INPUT CONFIG -> NETWORK -> MODE -> SACNメニューでそれを選択します。さらに、スポットライトのIPアドレスをスポットライトのIPアドレスは、PERSONALITY -> DMX INPUT CONFIG -> NETWORK -> IP ADDRESSで設定します。詳細および設定オプションは、18ページに記載されています。

7.4 Wireless-DMX

P10 Profileには、ワイヤレスDMX用のLumen Radio CRMXレシーバーが搭載されています。レシーバーはDMXとRDMの両方を処理できます。P10 Profileにケーブル接続とワイヤレス接続がある場合、ケーブル接続が優先されます! 受信した信号は、DMX接続で出力することができます。そのためには、PERSONALITY メニューの DMX OUTPUT CONFIG 設定を ON に設定します。ENTER で確定すると、スポットライトはワイヤレス DMX 経由で受信した全ユニバースを出力します。

7.5 RDM

P10 Profileは、ESTA American National Standard E1.20-2006 に準拠した RDM (Remote Device Management) による通信を行うことができます。RDMは、DMX512制御システムで使用するための双方向通信プロトコルです。DMX-512 機器の設定や状態監視のためのオープンスタンダードです。RDMプロトコルは、既存の非RDMデバイスに影響を与えることなく、DMX-512データストリームにデータパケットを挿入することを可能にします。コンソールや専用のRDMコントローラーで、特定のデバイスにコマンドを送信したり、メッセージを受信したりすることができます。P10は、DMXとArtnet 4経由でRDMを送受信することができます。また、スポットライトは、sACN経由でRDMを送信し、Artnet経由で受信できるようになっています。RDM機能は使用するコンソールに依存しますので、それぞれのデスクメーカーの操作説明書も遵守する必要があります。

7.5.1 RDM-UID

すべてのP10プロファイルは、工場で設定されたRDM-UID（一意の識別番号）を持っており、これによりRDMシステムでアドレスと識別が可能になります。

7.5.2 RDM-PIDs

P10プロファイルは、ESTAで要求されるRDM PID（パラメータID）およびメーカー固有のPIDをサポートしています。

7.5.3 Standard RDM parameter IDs

RDM parameter ID	GET	SET	DISCOVERY	Note
RDM identification				
DISC_UNIQUE_BRANCH			✓	is used for fixture identification
DISC_MUTE			✓	is used for fixture identification
DISC_UN_MUTE			✓	is used for fixture identification
RDM status determination				
QUEUED_MESSAGE	✓			
STATUS_MESSAGES	✓			
STATUS_ID_DESCRIPTION	✓			
CLEAR_STATUS_ID		✓		
RDM information				
SUPPORTED_PARAMETERS	✓			
RDM configuration				
DEVICE_MODEL_DESCRIPTION	✓			
MANUFACTURER_LABEL	✓			
FACTORY_DEFAULTS		✓		
SOFTWARE_VERSION_LABEL	✓			
DMX_PERSONALITY		✓		
DMX_PERSONALITY_DESCRIPTION	✓			
DMX_START_ADDRESS		✓		
SENSOR_DEFINITION	✓			
DEVICE_HOURS	✓			
LAMP_HOURS	✓			
IDENTIFY_DEVICE		✓		
RESET_DEVICE		✓		
PERFORM_SELFTEST		✓		
SELFTEST_DESCRIPTION	✓			

7.5.4 Manufacturer specific RDM parameter IDs

RDM parameter ID	GET	SET	DISCOVERY	Note
RDM configuration				
Battery Charge Hours	✓			
Error Number	✓			
Error	✓			
Select Next Error		✓		
Remove Error		✓		
Remove New Error Flag		✓		
User Defaults		✓		
User Fixture ID		✓		
Fixture Lock On/Off	✓	✓		
Dimmer Curve	✓	✓		
RGB Curve	✓	✓		
Frost Curve	✓	✓		
Camera Mode	✓	✓		
Cooling Mode	✓	✓		

Pan Tilt Speed	✓	✓		
Effect Speed	✓	✓		
Backlight Mode	✓	✓		
Disp Orientation	✓	✓		
Main Screen Mode	✓	✓		
Safe Mode Switch	✓	✓		
LED Fade Out Mode	✓	✓		
Blade Mode	✓	✓		

7.5.5 RDM sensor IDs

RDM sensor ID	GET	SET	DISCO- VERY	Note
RDM sensors				
Temp Sens Base LCD	✓	✓		
Temp Sens Base PS	✓	✓		
Temp Sens Head PCB	✓	✓		
Temp Sens Head Drv	✓	✓		
Temp Sens Head LED	✓	✓		
Temp Sens Head Air	✓	✓		

8. Service

8.1 Service menu

RESET FIXTURE

リセット "コマンドを実行すると、P10プロファイルは初期値に戻ります。これは、P10 Profileの電源をオンにした後と同じ手順です。エラーメッセージが表示された場合は、エラーメッセージを修正するための最初のステップとなる可能性があります。

ERROR LIST

P10 Profile は、発生したすべてのエラーを内部に保存します。エラーメッセージは、無害な原因であることもあります。頻繁にエラーメッセージが表示される場合は、販売店またはJB-Lightingのサービス部門にお問い合わせください。すべてのエラーメッセージは、それぞれの頻度で表示され、削除することができます。

FUNCTION TEST

コンソールを使用せずに、P10 Profile の全機能をテストすることができる機能です。パン/チルトのリセットは、このプロセスで解除されます。

DMX TEST

このメニュー項目は、DMX入力をテストするために使用します。ファンクションキーを使用して、テストするDMXチャンネルを選択します。ディスプレイには入力された値が表示され、同時に P10 Profile が適宜に反応します。

INIT PAN TILT

P10 Profileは、工場出荷時にパン/チルトポジションでキャリブレーションされています。このキャリブレーションが失われた場合（ストップにぶつかったり、位置が分からなくなったりした場合）、この機能で再初期化することができます。このプロセスは約3-4分かかり、スポットライトのリセットで終了します。

DISPLAY CONTRAST

温度が高すぎる場合、LCDディスプレイのコントラストが変化することがあります。このメニュー項目で、コントラストを調整することができます。

FINE ADJUST

FINE ADJUSTエリアは、キーの組み合わせで保護されています。フォーカス、シェイパー、シェイパー回転、パン、チルトは工場出荷時にキャリブレーションされています。個々のヘッドライト間のキャリブレーションに大きな偏差がある場合、FINE ADJUSTメニューで修正することができます。詳しくは、弊社サービスまでお問い合わせください。

デバイスの識別

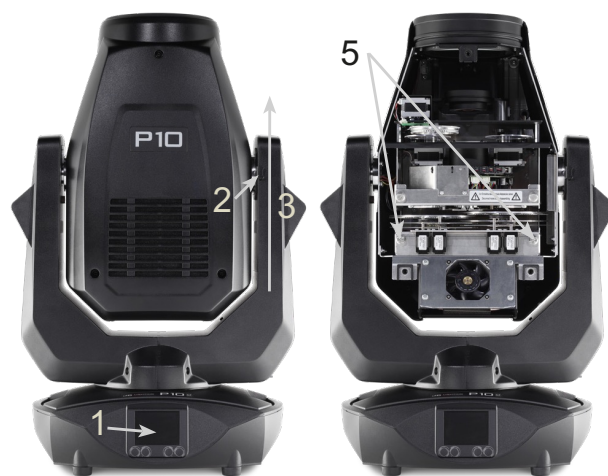
RDM コマンドの IDENTIFY DEVICE は、このメニュー項目で呼び出したり、無効にしたりすることができます。

8.2 Changing gobos

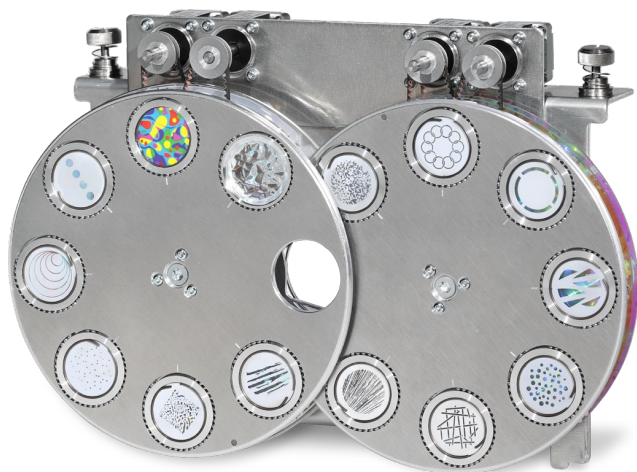


警告: 開く前にフィクスチャの接続を解除してください!

デバイスを開けるには（右側から）、写真のようにスポットライトをしっかりとした土台の上に置き、ディスプレイ（1）はあなたの方を向き、チルトロック（2）は右側に、スポットライトヘッドはあなたの方を向いています（3）（またはグリルを後ろから見ると、開いた蓋の側を示す閉じたハニカムが見えます）。カバーを外すには、3つのカムロックを半回転させて開き、カバーを持ち上げて、安全ワイヤーを外します。次に、刻み目の付いた2つのネジ（5）を開き、ゴボユニットを取り外します。次の図(1)は、P10Profileのゴボユニットを示しています。



(1)



回転ゴボを交換するには、クランプリング（A）のみを先の尖った物体で取り外し、ゴボを交換してから、クランプリングを再度取り付けます。ガラスゴボを取り付ける際には、白いコーティングが施された面がフロントレンズに面していることを確認してください。ロゴなど、ねじれが許されないゴボは、シリコン接着剤を一滴垂らして、ねじれないように固定することを追加でお勧めします。

(2)



オリジナルゴボを挿入するときは、ゴボ、ゴボホルダー、およびゴボホイールのマークに注意してください。

8.3 ゴボサイズ

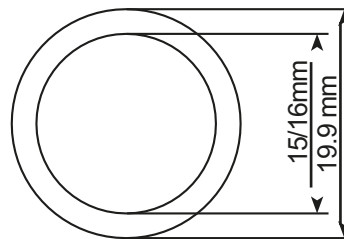
ゴボを自作される場合は、以下の寸法にご注意ください。:

イメージ径, rotating gobowheel 1: 15.00 mm

イメージ径, rotating gobowheel 2: 16.00mm

ガラス径: 19.90 mm (+0/-0.1 mm)

ガラス最大厚: 1.1 mm



8.5 ソフトウェアアップデート

P10 Profileは、マイクロUSB接続のUSBメモリでアップデートすることができます。そのためには、USBスティックのルートディレクトリにファイルを直接コピーします。ディスプレイの下にある右側のキーを押しながら、P10 Profileの電源を入れ、ディスプレイに「Insert USB stick」というメッセージが表示されたら、キーを放します。ここで、デバイス背面の信号接続部の下にあるUSBメモリを差し込み、ディスプレイの指示に従います。P10 Profileは、リセットでソフトウェアアップデートが完了します。最新のソフトウェアは、弊社ホームページでご確認いただけます。

8.6 電気機器試験

ドイツ社会傷害保険 (DGUV) 規則 3 / 規則 4 により、電気系統や設備は定期的に点検する必要があります。DMX 5ピンソケットの固定ネジは、絶縁・残留電流測定用の測定ポイントとして使用できます。ネジはコンタクトワッシャーを介してすべての板金部品に接続されています。

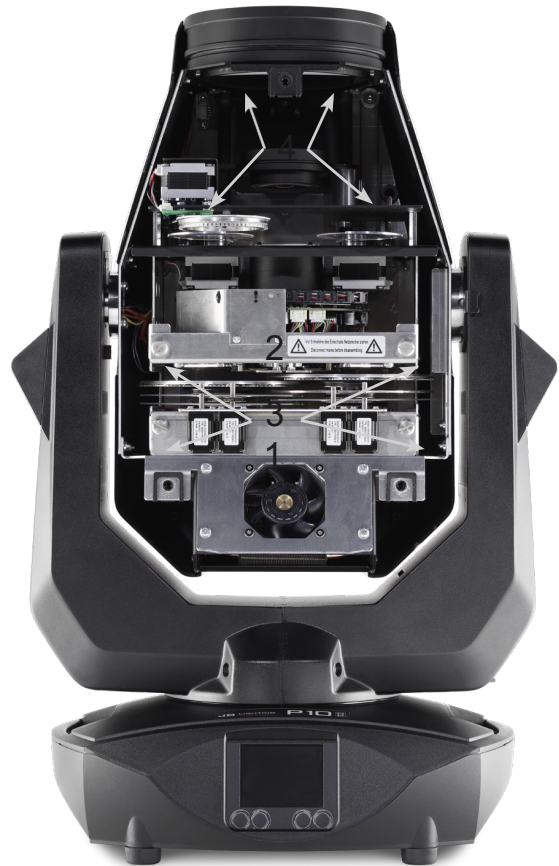


8.7 デバイスのクリーニング



警告: 開く前にフィクスチャの接続を解除してください!

Youヘッドとフットのファンの機能は、定期的にチェックする必要があります。特に、P10 Profileの吸気口と内部に毛羽立ちやホコリがないことを確認する必要があります。そのためには、ヘッドカバー（3×カムロックを半回転）とフットベースプレートを開けてください。P10 Profileは、ブラシや掃除機で掃除することができます。また、ローレットネジ(3)を緩め、フォーカススライドをレンズ側にスライドさせることで、エフェクトスライドイン(1)とダイアフラムスライドイン(2)を取り外すことができます。その後、柔らかい布とガラスクリーナーを使って、カラーフィルター、ガラスゴボ、CMYディスクを清掃することができます。また、フロストフラップ、プリズム、ズーム/フォーカスユニットもクリーニングできます。クリーニングの際、部品を曲げたり傷つけたりしないように注意してください。クリーニングが完了したら、インサートを装置に戻し、再び蓋を閉めます。



8.8 サービス・メンテナンス

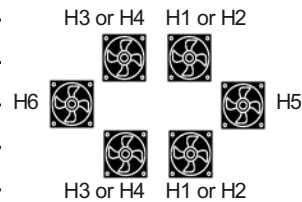
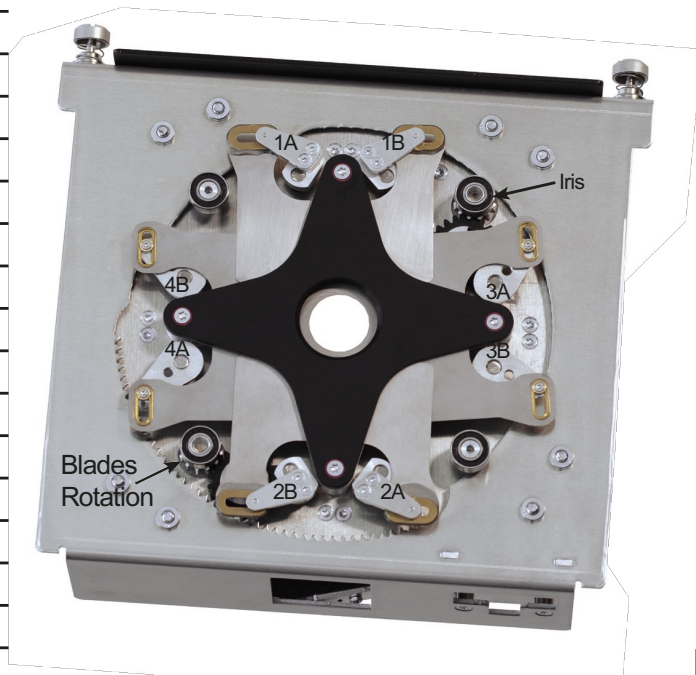
P10 Profileでは、ズーム/フォーカスガイドレールおよび回転ゴボに十分な潤滑が行われているか、定期的（1年に1回）に点検する必要があります。これを行うには、ヘッドカバーを開き（3×カムロックを半回転）、ゴボスロット（刻みつきネジ2個）を取り外します。

回転ゴボとガイドレールが空回りしないように注意する必要があります。必要に応じて、回転ゴボにはシリンジで、ガイドレールにはブラシで、特殊なシリコンオイルを必要に応じて塗布してください。

ゴボとレールの点検と注油が終わったら、スライドインユニットを再びセットします。作業終了後、ヘッドライトのカバーを元に戻し、ヘッドライトの全機能をテストしてください。

9. Overview of error codes for all fixtures

PAN TIMEOUT	Pan	
TILT TIMEOUT	Tilt	
GOBO1 TIMEOUT	Gobo wheel 1 position	
GROT1 TIMEOUT	Gobo wheel 1 rotation	
GOBO2 TIMEOUT	Gobo wheel 2 position	
GROT2 TIMEOUT	Gobo wheel 2 rotation	
COLOR TIMEOUT	Color wheel	
CYAN TIMEOUT	Cyan	
MAGENT TIMEOUT	Magenta	
YELLOW TIMEOUT	Yellow	
CTC TIMEOUT	CTB / CTO	
IRIS TIMEOUT	Iris	
BLADEROT TIMEOUT	Blades Rotation	
BLADE1A TIMEOUT	Blade1A	
BLADE1B TIMEOUT	Blade1B	
BLADE2A TIMEOUT	Blade2A	
BLADE2B TIMEOUT	Blade2B	
BLADE3A TIMEOUT	Blade3A	
BLADE3B TIMEOUT	Blade3B	
BLADE4A TIMEOUT	Blade4A	
BLADE4B TIMEOUT	Blade4B	
ZOOM TIMEOUT	Zoom	
FOCUS TIMEOUT	Focus	
PRISM1 TIMEOUT	Prism 1 (linear)	
PRISM1ROT TIMEOUT	Prism 1 rotation	
PRISM2 TIMEOUT	Prism 2 (circular)	
PRISM2ROT TIMEOUT	Prism 2 rotation	
ANI TIMEOUT	Animation wheel	
ANIROT TIMEOUT	Animation wheel rotation	
FAN B1 ER	Error Fan Base 1	
FAN B2 ER	Error Fan Base 2	
FAN B3 ER	Error Fan Base Transformer	SPARX ONLY
FAN H1 ER	Error Fan Head 1	
FAN H2 ER	Error Fan Head 2	
FAN H3 ER	Error Fan Head 3	
FAN H4 ER	Error Fan Head 4	
FAN H5 ER	Error Fan Head 5	
FAN H6 ER	Error Fan Head 6	
FAN H7 ER	Fan Blades (P18) / CMY P12	



TSENS BPS ER	Sensor Error Base Power Supply AC/DC	
TSENS BLCD ER	Sensor Error Base LCD	
TSENS BAIR ER	Sensor Error Base Air	SPARX ONLY
TSENS HMAIN ER	Sensor Error Head Main PCB	
TSENS HDRV ER	Sensor Error Head LED Driver PCB	
TSENS HLED ER	Sensor Error Head LED	
TSENS HAIR ER	Sensor Error Head Air (Ambient)	
HIGH TEMP BLCD	High Temperature Base LCD PCB	
HIGH TEMP BAIR	High Temperature Base Air (SPARX ONLY)	
HIGH TEMP BPS	High Temperature Base PSU AC/DC	
HIGH TEMP HMAIN	High Temperature Head Main PCB	
HIGH TMP HDRV	High Temperature Head LED Driver PCB	
HIGH TMP H LED	High Temperature Head LED Module	
HIGH TEMP HEAD AIR	High Temperature Head Air (Ambient)	
CPU1 NOT RESPONDING	CPU Display PCB	
CPU2 NOT RESPONDING	CPU Pan/Tilt PCB	
CPU3 NOT RESPONDING	CPU Main Head PCB	
CPU4 NOT RESPONDING	CPU Main Head PCB: MK2 MAIN HEAD, P12 CMY, MK1 BLADES	
CPU5 NOT RESPONDING	CPU Blades PCB: MK1 LED DRIVER PCB	
CPU6 NOT RESPONDING	CPU LED Driver PCB: MK1 N.A.	

10. 仕様書

外形寸法・質量	265 mm
幅	398 mm
高さ	609 mm
重さ	18 kg

電子システム

電源	100-240 V AC, 50-60Hz
最大消費電力	490 VA
待機時消費電力	90 VA

温度特性

最高使用環境温度	45 °C
最低使用環境温度	5 °C

光学、測光データ

光源	White light LED module 330W
光束 HP	15000 Lumen @20°C
光束 HC	11000 Lumen @20°C
光束 WW	9000 Lumen @20°C

効果

Pan	546.74°
Tilt	281.16°
Zoom	4° - 60°

構造

色	black
素材	PC ABS
保護等級	IP 20
プラグイン技術	yes

設置

設置場所	indoors
取付金具	2x Omega brackets
取付位置	.any
可燃物までの最小固定距離	0.5 m
発光部と被照射面との距離	2.0 m

接続

電源入力	Neutrik powerCON TRUE1
電源取出し	Neutrik powerCON TRUE1
DMX/RDM in/out USITT DMX512	5-pin, in/out XLR
Ethernet in/out	Neutrik etherCON
Micro-USB	Software update

11.適合宣言書



Declaration of Conformity

指令の意味：2014/35/EU Low Voltage Directive。

- ・2014/02/26の欧州議会と理事会の指令2014/35/EUは、特定の電圧制限内で使用するよう設計された電気機器に関する加盟国の法律を近似させるための指令。
- ・ある電圧制限内で使用するために設計された電気機器に関する加盟国の法律を近似化するための指令

指令の意味：2014/30/EU 電磁両立性

- ・電磁両立性に関連する加盟国の法律を近似するための2014/02/26の欧州議会と理事会の指令2014/30/EU

製造メーカー

JB-Lighting Lichtenlagentechnik GmbH
Sallersteigweg 15
89134 Blaustein-Wippingen

該当製品:

P9

指令の本質的な保護要件に適合しています。適合性評価には、以下の規格を使用しました。

排出量要件

EN 55032:2015

情報技術装置、電波障害特性-限界値および測定方法-限界値クラスA

伝導性妨害電波

EN 55032:2015

情報技術装置に対する要求事項、無線妨害特性 - 限界値、測定方法

限界値及び測定方法-限界値クラスA

電磁両立性

EN 55032:2015

情報技術装置、無線妨害波特性-

限界値及び測定方法-限界値クラス A

高調波電流

EN 61000-3-2:2015

電磁両立性

第3-2部：高調波電流の制限値及び試験

(入力電流が各相 16A 未満の装置用)

フリッカー

EN 61000-3-3:2013

電磁両立性(EMC)

第 3-3 部：限界値、電圧変化の制限。

低電圧ネットワークにおける電圧変動及びフリッカ

(入力電流が1相あたり16A未満の機器用)

免責事項 要件

EN 61000-6-2:2005

電磁両立性 (EMC) -第 6-2 部：汎用規格-工業エリアにおける免責事項

EN 61000-4-2:2009

Part 4-2: 静電気放電に対する免責事項

EN 61000-4-3:2006 +A1:2008 +A2:2010

Part 4-3: 高周波電磁界に対する免責事項第

EN 61000-4-4:2012

Part 4-4: 高速過渡電気障害 (バースト) に対する免責事項

EN 61000-4-5:2006

Part 4-5: サージ電圧に対する妨害波電圧

EN 61000-4-6:2014

Part 4-6: 高周波誘起伝導妨害波に対する免責事項

EN 61000-4-8:2010


Part 4-8: 電力技術用周波数の磁界に対する免責事項

EN 61000-4-11:2004

Part 4-11: 電圧ディップ、短時間停電、電圧変動に対する免責事項

Blaustein, 01/07/2022

Jürgen Braungardt
CEO



JB-Lighting Lichtenlagentechnik GmbH
Sallersteig 15
89134 Blaustein
Tel. +49 7304 9617-0
Fax. +49 7304 9617-99
info@jb-lighting.de
www.jb-lighting.de

JB LIGHTING

国内販売代理店

株式会社スペース・エンジニアリング・ワークス
東京都新宿区早稲田鶴巻町523 ジョイフル中川 1F
TEL:03-5292-2380 / FAX:03-5292-2382

テクニカルサポート

株式会社ノード
東京都江東区毛利1-17-1 レジデンス毛利WEST 1F
TEL 03-6666-0186 / FAX 03-6666-0187

セールス／マーケティングサポート

株式会社アフターバーナー
東京都江東区豊洲5-6-45-705
TEL / FAX 03-3532-7698

輸入代理店

ベルント・エルプス・ステージ・サービス株式会社
東京都文京区小石川5-39-2-407
TEL / FAX:03-5689-2385